WMS 40 PRO FLEXX

B 型ワイヤレスシステム
取扱説明書

技術基準適合証明品

■対象製品
WMS 40 PRO Vocal Set FLEXX
WMS 40 PRO Instrumental Set FLEXX
WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX/Lavalier
WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX/Head-worn

このたびは AKG「WMS 40 PRO FLEXX」B 型ワイヤレスシステムをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に必ず本書をお読みいただき、内容をよくご理解された上で正しくお使いください。またお読みになったあとは、保証書と一緒にいつでも見られるところに保管してください。

はじめに

製品の特長

WMS 40 PRO FLEXX は、上位機種ゆずりの優れた音質とシンプルな設計による高い操作性を両立した高品位 B 型ワイヤレスシステムです。チャンネルの切り替えはシンプルなスイッチ式を採用。ワイヤレス受信機とワイヤレス送信機、運用に必要なアクセサリーがひとつにまとまったパッケージを 4 種類用意しており、用途に合わせてお選びいただくことができます。

● 本システムには 3 種類の周波数 (806.875MHz、808.625MHz、809.125MHz) があらかじめ設定されています。周波数はスイッチひとつで切り替えが可能で、3 波同時に運用する事もできます。

● 4 種類のパッケージを用意しています。

WMS 40 PRO Vocal Set FLEXX（ハンドヘルド型送信機と受信機のセット）

WMS 40 PRO Instrumental Set FLEXX（ボディパック型送信機とギターケーブル、受信機のセット）

WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX /Lavalier（ボディパック型送信機とラベリアマイクロホン、受信機のセット）

WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX /Headworn（ボディパック型送信機とヘッドウォーンマイクロホン、受信機のセット）

★パッケージ内容の詳細につきましては 4 ページの「梱包内容の確認」をご覧ください。

● 単 3 形アルカリ乾電池 1 本で約 30 時間 * の連続運用が可能です。

⚠ * 新品乾電池使用の場合です。また使用環境によって連続運用時間が異なる場合がありますのでご注意ください。

● 受信機のアンテナには、優れた受信感度を発揮するダイバーシティ方式を採用しています。

目次

はじめに

製品の特長 2

安全のために 3

使用上のご注意 3

保証書について 4

梱包内容の確認 4

別売りアクセサリー 4

各部の名称と機能

受信機 [SR 40 FLEXX] 5

ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX] 6

グリルのお手入れ方法 6

ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] 7

セットアップ

受信機 [SR 40 FLEXX] のセットアップ 8

・設置場所について

・電源の入れ方

・外部機器との接続

ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX] を使用するシステムのセットアップ 8

ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] を使用するシステムのセットアップ 9

サウンドチェックの前に 9

同時に複数のシステムを使用する場合 9

マイクロホンテクニック 10

トラブルシューティング 10

仕様 11

安全のために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 屋外で使用している時に雷が鳴り出したら、ただちに使用をやめ本機から離れてください。落雷による事故の原因になります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 本機からの電波が他の機器（医用機器や航空機など）に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因となりますので、使用環境には十分配慮してください。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損したなどの異常があるときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また同梱された電源ケーブルは他の機器に接続しないでください。

⚠ 注意　人が損害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 濡れた手で電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルの上に重いものを乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。感電の原因となります。

使用上のご注意

送信機技術基準適合証明ラベルについて

HT 40 FLEXX、PT 40 FLEXX は電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明番号を記した証明ラベルが 1 台ずつ貼ってあります。表示の改変、除去は法律で禁じられていますので、みだりに剥がしたり、損傷することのないよう注意してください。

違法改造について

機器を分解したり、内部の部品に触れたりしないでください。改造等は法律で禁じられています。

取り扱い、お手入れについて

- 照明用調光機、コンピューターなどの OA 機器、大型モーター、デジタル・オーディオ機器や電子楽器、トランシーバー等の通信機器の近くでは雑音等の影響を受けることがあります。なるべく離して設置してください。
- 振動する場所、直射日光の当たる場所、高温・多湿な場所、ほこりの多い場所等には設置しないでください。いずれもトラブルの原因となります。
- お手入れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどい場合には中性洗剤を使用して固く絞った布で拭いた後、から拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色や変形の原因になりますので使用しないでください。
- 水にぬれた場合は、すぐに電源スイッチを切り、乾いた布で拭き取ってください。
- 長時間 (2 週間以上) 使用しない時は、乾電池を取り出してください。

はじめに

保証書について

・保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より 1 年間は保証期間です。保証書の記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
・お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不充分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
・改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計・製造以外の要因で起きた故障や不具合は、期間内であっても保証の対象外となります。

故障かな？と思われる症状が出たときには

この取扱説明書をもう一度よくお読みになり、接続や操作などをご確認ください (10 ページ「トラブルシューティング」参照)。それでも改善されないときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。調整・修理いたします。

梱包内容の確認

梱包を開けたら、次のものが入っていることを確認してください。
万一足りないものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

WMS 40 PRO Vocal Set FLEXX

・受信機 [SR 40 FLEXX] × 1
　SR 40 FLEXX 専用 AC アダプター× 1
・ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX] × 1
　単 3 形アルカリ乾電池× 1
　マイクホルダー× 1
　交換用プレート (半透明黒) × 1
・和文取扱説明書× 1
・保証書× 1

WMS 40 PRO Instrumental Set FLEXX

・受信機 [SR 40 FLEXX × 1
　SR 40 FLEXX 専用 AC アダプター× 1
・ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] × 1
　単 3 形アルカリ乾電池× 1
　識別シート× 1
・ギターケーブル [MKG L] × 1
・和文取扱説明書× 1
・保証書× 1

WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX /Lavelier

・受信機 [SR 40 FLEXX] × 1
　SR 40 FLEXX 専用 AC アダプター× 1
・ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] × 1
　単 3 形アルカリ乾電池× 1
　識別シート× 1
・ラベリアマイク [CK 55 L] × 1
　CK 55 L 用マイククリップ
　CK 55 L 用ウインドスクリーン [W 55] × 1
・和文取扱説明書× 1
・保証書× 1

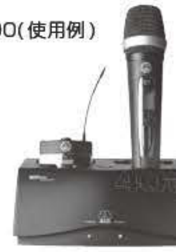
WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX /Head-worn

・受信機 [SR 40 FLEXX] × 1
　SR 40 FLEXX 専用 AC アダプター× 1
・ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] × 1
　単 3 形アルカリ乾電池× 1
　識別シート× 1
・ヘッドウォーンマイク [C 555 L] × 1
　C 555 L 用モイスチャーシールド× 2
　C 555 L 用ウインドスクリーン [W 444] × 1
・和文取扱説明書× 1
・保証書× 1

別売りアクセサリー

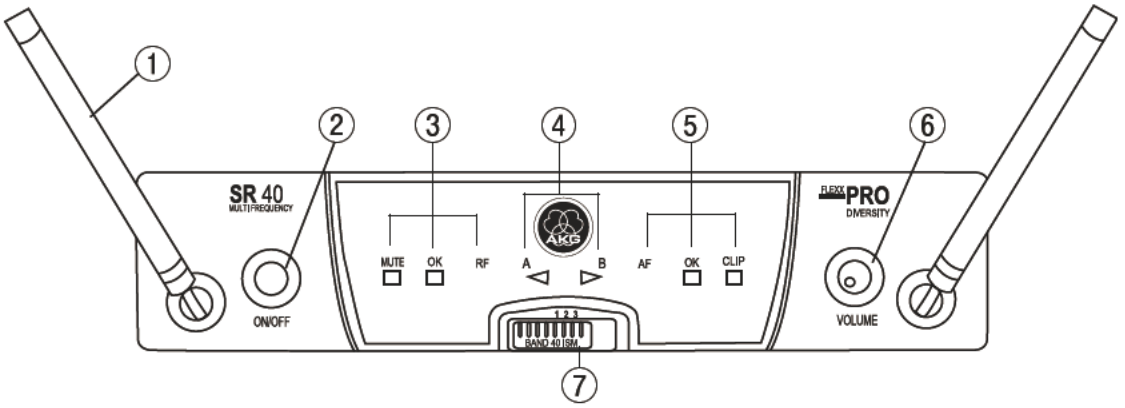
■ CU 400.............................送信機用充電器。送信機 2 台を同時に充電可能。
■ RMU 40 PRO..................受信機 [SR 40 FLEXX] 専用 19 インチラックマウント金具。
　受信機 1 台または 2 台をラックマウント可能。
■ W 880..............................ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX] 用ウインドスクリーン。

CU 400(使用例)



受信機 [SR 40 FLEXX]

■前面パネル



① アンテナ（1/4 波長アンテナ）

受信感度の高いアンテナの信号が自動的に選択される、ダイバーシティ回路を採用しています。脱着不可です。

② ON/OFF：電源 ON/OFF スイッチ

③ RF 信号の受信状況

<u>■ MUTE LED（赤色に点灯）</u>

RF 信号を受信していない、もしくはスケルチ機能により RF 信号がミュートされているときに点灯します。いずれの場合も AF(音声) 信号の出力は自動的にミュートされます。

※スケルチ機能については、背面パネル⑩の説明をご覧ください。

<u>■ OK LED（緑色に点灯）</u>

RF 信号を十分なレベルで受信しているとき点灯します。

④ A/B LED：ダイバーシティ A/B LED

ダイバーシティ回路により、A または B どちらのアンテナが選択されているかを示します。

⑤ AF(音声) 信号の受信状況

<u>■ OK LED（緑色に点灯）</u>

AF(音声) 信号を十分なレベルで受信しているとき点灯します。

<u>■ CLIP LED（赤色に 点灯）</u>

AF(音声) 信号が 3dB 以上になると点灯し、AF(音声) 信号がクリップしていることを示します。

⑥ VOLUME：出力レベル調整つまみ

受信機の出力レベルを調整します。

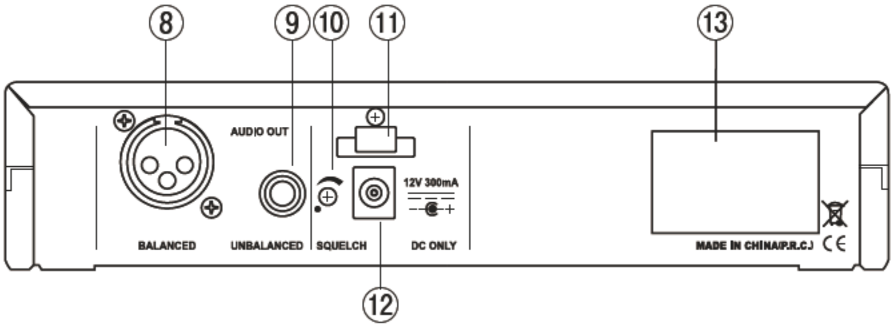
調整可能な幅は 26dB です。

⑦ 1/2/3：周波数選択スライドスイッチ

使用する周波数を以下の三種類から選択します。

1) 806.875 MHz
2) 808.625 MHz
3) 809.125 MHz

■背面パネル



⑧ AUDIO OUT/BALANCED：バランス型出力端子

バランス型、XLR3 ピンコネクターの出力端子です。

⑨ AUDIO OUT/UNBALANCED：アンバランス型出力端子

アンバランス型、標準フォーンジャック (TS) の出力端子です。

⑩ SQUELCH：スケルチ調整つまみ

スケルチ値を調整します。

スケルチとは、受信した信号レベルが弱いとき、ノイズの発生を防ぐために受信機の出力をミュートする機能です。初めて使用する時は、設定を最小にしてください。

つまみの調整にはプラスドライバーが必要です。

⑪ コード・クランプ

AC アダプターのケーブルを固定します。

⑫ DC ONLY：電源入力端子

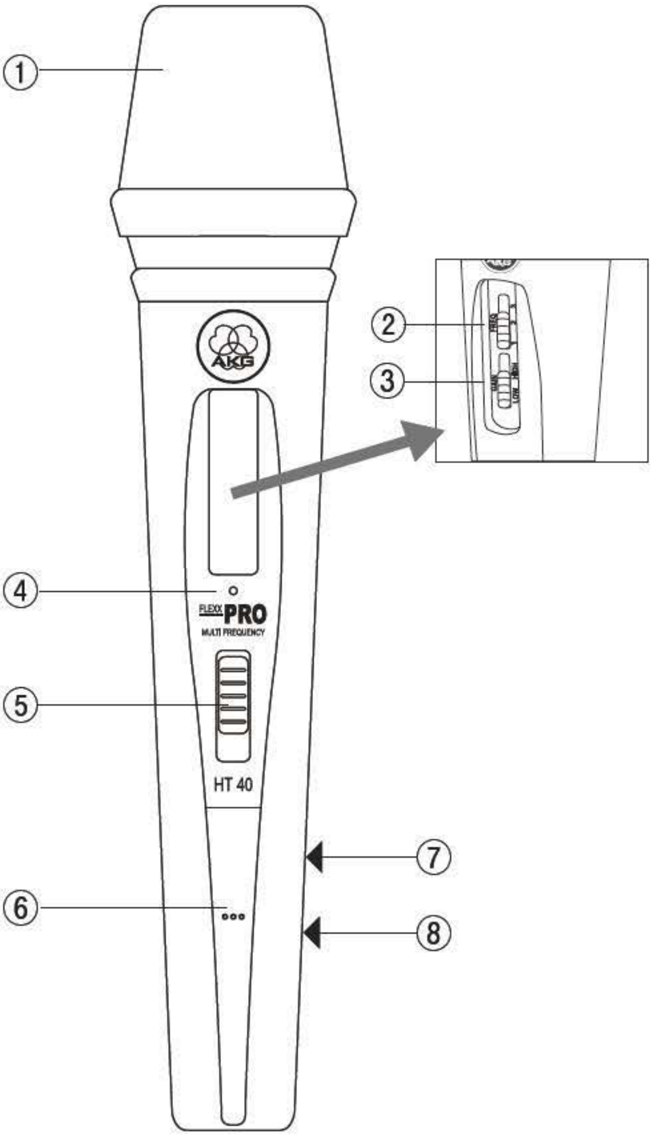
付属の AC アダプターを接続します。

⑬ 周波数ラベル

本機に設定されている 3 種類の周波数が明記されています。

各部の名称と機能

ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX]



① マイクヘッド

単一指向性、ダイナミックマイクロホンのカートリッジを採用。

② FREQ 1/2/3：周波数選択スライドスイッチ

使用する周波数を以下の三種類から選択します。

1) 806.875 MHz
2) 808.625 MHz
3) 809.125 MHz

③ GAIN：ゲイン選択スライドスイッチ

スライドスイッチを使って、ゲイン(入力感度)を "HIGH" または "LOW" のいずれかに設定できます。

④ LED

送信機の動作状態を示します。

緑............電池残量は十分あります。
赤............電池残量が少なくなっています。LED が赤になると、電池残量が 2 時間を下回ったことを示します。

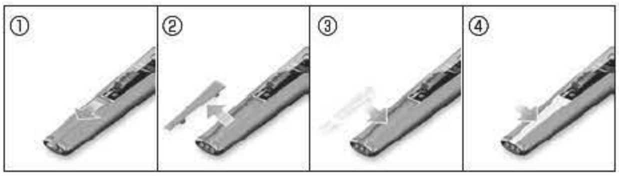
⚠ 充電池を使用している場合、LED が赤になると電池残量が 15 分を下回ったことを示します。アルカリ乾電池よりも電池の消耗スピードが早いので注意してください。

⑤ ON/MUTE/OFF：スライドスイッチ

ON ....電源を ON にします。
MUTE ....電源が ON になり RF 信号は出力していますが、AF(音声)信号はミュートされています。
OFF.........電源を OFF にします。

⑥ 識別プレート

送信機と受信機の設定周波数が同一であることを示します。出荷時は"ライトグリーン" 色のプレートが装着されています。半透明黒色の交換用プレートも付属しており、下記の手順で交換することができます。



⑦ 周波数ラベル

本機に設定されている 3 種類の周波数が明記されています。

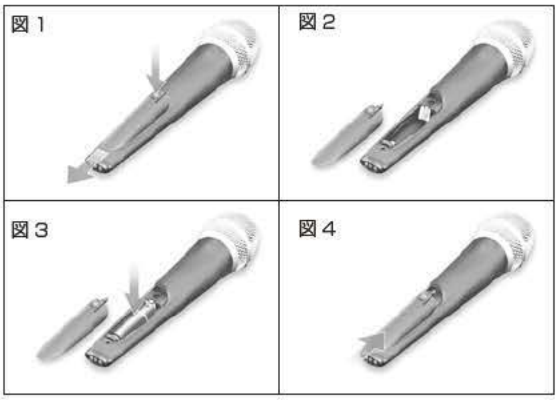
⑧ 電池ボックス

単 3 形アルカリ乾電池× 1 を収納します。ニッケル水素充電池も使用できます。別売りの充電器 [CU 400] を使用することで、充電池を本機に装着した状態で充電することもできます。

⚠ 充電池の場合、アルカリ乾電池に比べて電池の消耗スピードが速いため、使用する際には十分注意してください。

■電池の入れ方

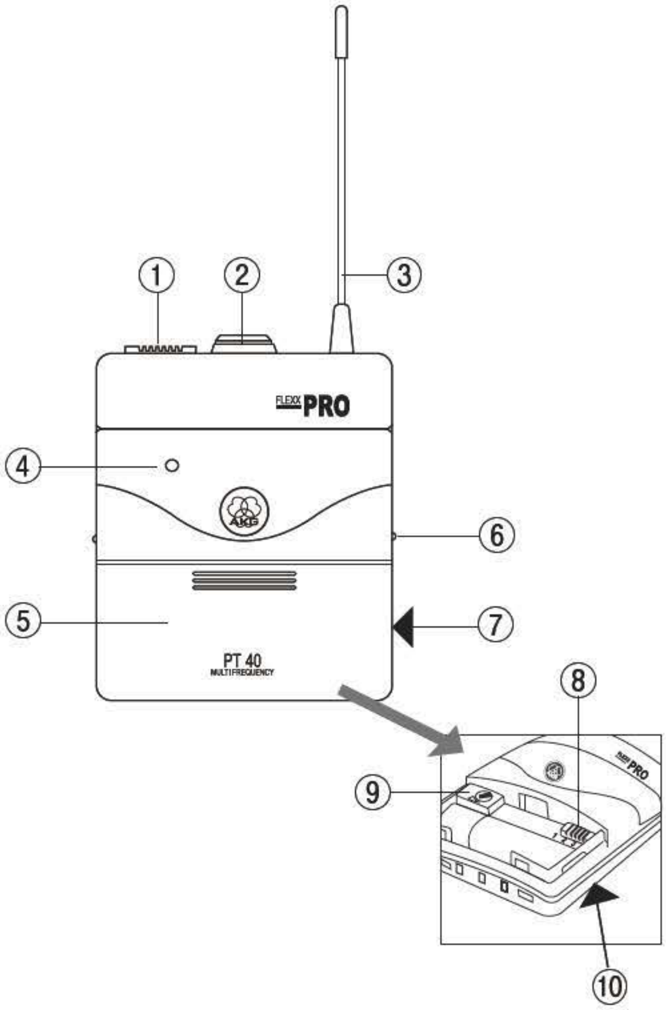
1. 本体裏面にある電池ボックスのカバーを外します。(図 1 ~図 2)
2. 乾電池の極性に注意して正しく挿入します。(図 3)
3. スライドスイッチを使って送信機の電源を ON にして、LED で電池残量が十分であるかどうか確認します。
4. 1 で取り外した電池ボックスのカバーを閉じます。(図 4)



■グリルのお手入れ方法

1. マイクヘッド①のグリルを回して、ハンドヘルド型送信機本体から取り外します。
2. グリル内部のフォームウインドスクリーンを取り外します。
3. 水で薄めた中性洗剤でフォームウインドスクリーンを洗います。
4. フォームウインドスクリーンが乾いたらグリル内部に戻し、ハンドヘルド型送信機本体に取り付けます。

ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX]



① ON/MUTE/OFF：スライドスイッチ

ON..........電源を ON にします。
MUTE....電源が ON になり RF 信号は出力していますが、AF(音声)信号はミュートされています。
OFF.........電源を OFF にします。

② 入力端子

ミニ XLR3 ピンコネクターの入力端子です。

付属の AKG マイクロホンやギターケーブル (MKG L) を接続します。

③ アンテナ

1/4 波長ホイップアンテナ (取り外し不可)。

④ LED

送信機の動作状態を示します。

緑............電池残量は十分あります。
赤............電池残量が少なくなっています。LED が赤になると、電池残量が 2 時間を下回ったことを示します。

⚠ 充電池を使用している場合、LED が赤になると電池残量が 15 分を下回ったことを示します。アルカリ乾電池よりも電池の消耗スピードが早いので注意してください。

⑤ 電池ボックス

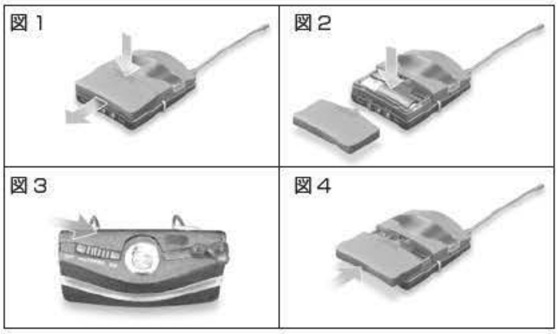
単 3 形アルカリ乾電池× 1 を収納します。

- 電池ボックスのカバー先端部分は、ゲイン調整つまみを調整するドライバーとして使用できます。
- ニッケル水素充電池も使用できます。別売りの充電器 [CU 400] を使用することで、充電池を本機に装着した状態で充電することもできます。

⚠ 充電池の場合、アルカリ乾電池に比べて電池の消耗スピードが速いため、使用する際には十分注意してください。

■電池の入れ方

1. 電池ボックスのカバーを外します。(図 1)
2. 乾電池の極性に注意して正しく挿入します。(図 2)
3. スライドスイッチを使って送信機の電源を ON にして、LED で電池残量が十分であるかどうか確認します。(図 3)
4. 1 で取り外した電池ボックスのカバーを閉じます。(図 4)



⑥ ベルトクリップ

送信機をベルトに固定します。

⑦ 周波数ラベル

本機に設定されている 3 種類の周波数が明記されています。

⑧ FREQ 1/2/3：周波数選択スライドスイッチ

使用する周波数を以下の三種類から選択します。

1) 806.875 MHz
2) 808.625 MHz
3) 809.125 MHz

⑨ GAIN：ゲイン調整つまみ

入力感度を調整します。つまみは電池ボックスのカバー先端部分を使って調整できます。最良の音質を得るためには、受信機の AF LED を確認しながら適切に設定します。

⑩識別シート取り付け窓

PT 40 FLEXX には、送信機を判別するためのシートが付属しています。必要な情報を記入し、以下の手順に従ってご使用ください。

1. 電池ボックスのカバーを取り外します。
2. ラベルに必要な情報を書き込み、台紙から外します。
3. 電池を取り出し、表から見えるようにラベルを入れます。
4. 電池を戻し、電池ボックスのカバーを閉じます。

セットアップ

重要！

● 電源を ON にする前に、受信機と送信機の周波数設定 (1/2/3) を必ず一致させてください。違う周波数が選択されていると音が出ません。

① 806.875 MHz　② 808.625 MHz　③ 809.125 MHz

● 受信機のバランス出力とアンバランス出力は同時に使用しないでください。ノイズが増加したり、出力が弱まることがあります。

受信機 [SR 40 FLEXX] のセットアップ

設置場所について

金属や壁、天井などによる反射、ミュージシャンなど人物でさえぎられると、電波が途切れたり弱まる可能性があります。以下の点に注意して受信機の設置位置を決定してください。

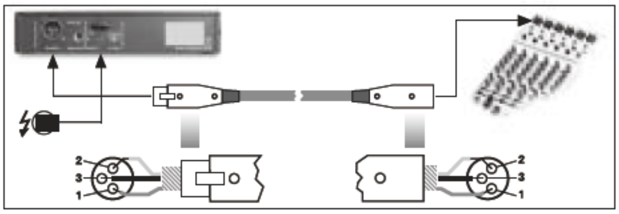
・ ステージなど、送信機を持つ人が見通せる場所に設置します。
・ 受信機と送信機の距離は少なくとも 3 m以上あけてください。5m が最適です。
・ 金属や壁、やぐら、天井などからは 1.5m 以上離して設置します。

電源の入れ方

1. アンテナを上に向けます。
2. 付属の AC アダプターの端子を受信機背面パネルにある DC ONLY(5 ページ⑫) に接続します。
3. 電源ケーブルを DC ONLY の上部にあるコード · クランプ (5 ページ⑪) に通し、固定します。
4. 受信機専用 AC アダプターのプラグをコンセントに接続します。
5. 受信機前面パネルの電源 ON/OFF スイッチ (5 ページ②) を押して電源を ON にします。電源を OFF にするには電源 ON/OFF スイッチを再度押します。

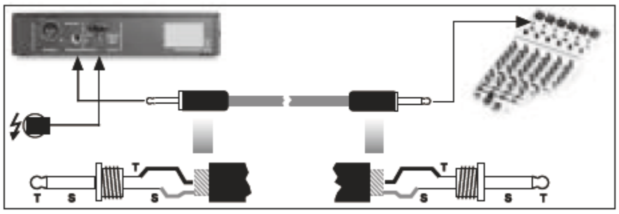
外部機器との接続

●バランス型出力端子を使用した接続方法



1. XLR-XLR ケーブルを用意します。
2. 本体背面パネルにあるバランス型 XLR 出力端子からミキサーのバランス型 XLR マイク入力端子に接続します。
3. 前面パネル出力レベル調整つまみを使って出力レベルを調整します。

●アンバランス型出力端子を使用した接続方法



1. 標準フォーンプラグ (モノラル) のケーブルを用意します。
2. 本体背面パネルにあるアンバランス型標準フォーン出力端子からミキサーやギターアンプ、エフェクターのアンバランス型ライン入力端子に接続します。
3. 前面パネル出力レベル調整つまみを使って出力レベルを調整します。

⚠ アンバランス接続の場合、ケーブルは 3m 以上のばさないでください。音質が劣化するおそれがあります。

ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX] を使用するシステムのセットアップ

1. 受信機を安定した場所に設置します。オプションのラックマウントキット [RMU 40 PRO] を使用してラックマウントすることもできます。
2. 受信機の前面パネルにある周波数選択スライドスイッチ (5 ページ⑦) を使って使用する周波数番号を決定します。
3. 送信機も周波数スライドスイッチ (6 ページ②) を使って、受信機と同じ周波数番号を選択します。
4. 受信機背面パネルのスケルチ調整つまみ（5 ページ⑩）を最小にし、受信機の電源（5 ページ②）を ON にします。
5. 送信機の電源（6 ページ⑤）を ON にします。
6. 声を出して受信機の AF CLIP LED（5 ページ⑤）の状態を確認します。
   ・ AF CLIP LED が時々点灯する程度が最適な状態です。
   ・ AF CLIP LED がほとんど点灯しない、もしくは全く点灯しない場合は送信機のゲイン設定が低すぎます。送信機のゲイン設定（6 ページ③）を“HIGH”に変更してください。
   ・ AF CLIP LED が点灯し続ける場合は送信機のゲイン設定が高すぎます。送信機のゲイン設定（6 ページ③）を“LOW”に変更してください。

ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] を使用するシステムのセットアップ

1. 受信機を安定した場所に設置します。オプションのラックマウントキット [RMU 40 PRO] を使用してラックマウントすることもできます。
2. 受信機の前面パネルにある周波数選択スライドスイッチ (5 ページ⑦) を使って使用する周波数番号を決定します。
3. 送信機も周波数スライドスイッチ (7 ページ⑧) を使って、受信機と同じ周波数番号を選択します。
4. マイクロホンを使用する場合は、マイクロホンのミニ XLR コネクターをボディパック型送信機の入力端子（7 ページ②）に接続します。楽器を接続する場合は、付属ギターケーブル (MKGL) のフォーンジャックを楽器の出力端子に、ミニ XLR コネクターをボディパック型送信機の入力端子（7 ページ②）に接続します。
5. 受信機背面パネルのスケルチ調整つまみ（5 ページ⑩）を最小にし、受信機の電源（5 ページ②）を ON にします。
6. ボディパック型送信機の電源（7 ページ①）を ON にします。
7. マイクロホンを接続している場合はマイクロホンに向かって声を出し、楽器を接続している場合は楽器を演奏して音を出します。
8. 受信機の AF CLIP LED（5 ページ⑤）が時々点灯するように、ボディパック型送信機のゲイン調整つまみ（7 ページ⑨）を調整します。

※ ゲイン調整つまみは、電池ボックスのカバーの先端で調整することができます。

ボディパック型送信機用マイクロホンについて

ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] は、以下の AKG マイクロホンと組み合わせて使用するよう設計されています。

- ラベリア・マイクロホン..................................CK 55 L、C 417 L
- ヘッドウォーン・マイクロホン......................C 520 L、C 555 L
- 楽器用 (グースネック)...................................C 516 ML
- パーカッション用 (グースネック) ....C 518 ML
- 管楽器用 (グースネック)................................C 519 ML

上記以外の AKG マイクロホンまたは他メーカーのマイクロホンを接続する場合には、コネクターのピン配列が下記と同一であることを確認してください。

- ピン 1.................グラウンド
- ピン 2.................オーディオ
- ピン 3.................電源供給 (4V)

⚠ AKG 以外のマイクロホンを使用する場合、ワイヤレスシステムが正常に動作しない、または何か問題が発生するおそれがあります。

サウンドチェックの前に

- 送信機を持って使用するエリアを歩き回り、RF 信号の感度が極端に下がるデッドポイントがないか確認します。万が一デッドポイントを発見した場合は、受信機の設置位置を変更してみます。それでも問題が解消されない場合はデッドスポットを避けて運用してください。
- RF OK LED(5 ページ③) が点灯しないときは、RF 信号が受信できない、もしくはスケルチ回路が動作して信号がミュートされている状態です。送信機の電源が ON で電波が送信されていることを確認してください。それでも解消されない場合は、受信機の RF OK LED が点灯するようスケルチ調整つまみ (5 ページ⑩) を調整してください。
- ノイズが多い場合は、スケルチ調整つまみ (5 ページ⑩) を調整します。

⚠ 本機のスケルチ値は－ 70 dB(最大) ～ － 100 dB(最小) の範囲で調整可能ですが、設定値が高いほど通信できる距離が短くなります。初期設定値から変更する場合は、必要以上に高く設定しないよう注意してください。

同時に複数のシステムを使用する場合

それぞれ異なる周波数を設定すれば最大 3 チャンネルの WMS 40 PRO FLEXX を同時に使用することができます。

セットアップ方法

1. 全ての送信機と受信機の電源を OFF にします。
2. 使用するシステムの周波数選択スイッチを、「1」「2」「3」のそれぞれ異なる番号に設定します。
3. 8 ページ～ 9 ページに記載されている「セットアップ方法」に従って、1 セットずつセットアップします。

マイクロホンテクニック / トラブルシューティング

マイクロホンテクニック

■ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX]

マイクと口の距離・角度

- マイクロホンは口に向かってまっすぐ持ち、口につくくらい近づけることで、マイクロホンの持つ最良の音質を得る事ができます。
- マイクロホンと口の距離や角度をコントロールすると、繊細な音からパワフルな音まで幅広く表現できます。
- マイクロホンと口が近づくほど、近接効果により低域が強くなる傾向があります。
- マイクロホンの軸からずれると感度が落ちます。口とマイクロホンの角度が 35 度以上外れないように注意して使用してください。

ハウリング

スピーカーからの出力をマイクロホンが収音することによって生じる現象です。ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX] は、ハウリングに強いカーディオイド型を採用していますが、万が一ハウリングが発生した場合は、以下の方法を試してみてください。

- ミキサーまたはアンプの出力を下げる。
- マイクロホンとスピーカーの距離を遠ざける。
- マイクロホンとスピーカーの相対角度を変える。

■ ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX] 用マイクロホンの場合

CK 55 L ラベリアマイクロホン

- 付属のクリップを使用して取り付けます。
- なるべく口元に近い位置で、口元に向けてマイクロホンを洋服に取り付けます。マイクロホンが口元に近いほど、ハウリングの発生は少なくなります。

C 555 L ヘッドウォーンマイクロホン

- マイクロホンを装着します。
- マイクロホンが口元横にくるように、グースネック部分を曲げます。

※ ポップノイズが気になる場合は、マイクロホンを口元から少し離してください。

※ 音が薄いもしくはフラットな感じを受ける場合、マイクロホンを口元近くに寄せてみてください。

※ ポップノイズや風の音が気になる場合は、ウィンドスクリーンを使用してみてください。

マイクカートリッジの湿気防止

- モイスチャーシールドが付属している場合は、取り外さないでください。
- 化粧用品や湿気がマイクロホンカートリッジに浸透すると、マイクロホンの感度や音質を低下させる原因となります。モイスチャーシールドを使用することにより、マイクロホン内部に化粧用品や湿気が浸透するのを防ぐことができます。

トラブルシューティング

問 題	想定される原因	対 策
音が出ない	受信機の AC アダプターが正しく接続されていない。	AC アダプターの接続を確認する。
	受信機の電源が ON になっていない。	電源 ON/OFF スイッチを押して電源を ON にする。
	受信機がミキサーやパワーアンプに接続されていない。	受信機の出力をミキサーやパワーアンプの入力に接続する。
	受信機の出力レベルが 0 になっている。	受信機の出力レベル調整つまみを使って、レベルを上げる。
	ボディパック型送信機にマイクロホンや楽器が接続されていない。	マイクロホン、楽器をボディパック型送信機の入力に接続する。
	送信機と受信機のチャンネルが一致していない。	送信機と受信機のチャンネルを合わせる。
	送信機のスライドスイッチが OFF または MUTE になっている。	送信機のスライドスイッチを ON にする。
	送信機の乾電池の極性が間違っている。	乾電池の極性を確認する。
	送信機の電池が切れている。	送信機の電池を交換する。
	送信機が受信機から遠すぎる、またはスケルチ設定が高すぎる。	受信機に近づく、またはスケルチ設定を下げる。
	送信機と受信機の間に障害物がある。	障害物を移動する。
	送信機の位置から受信機が見えない。	受信機が見える位置に移動する。
	近くに金属の障害物がある。	金属の障害物から受信機を離す。
ノイズ・雑音	アンテナの位置に問題がある。	受信機を移動する。
	他のワイヤレスシステムやテレビ、ラジオ、無線機、電気設備などの干渉。	干渉と考えられる機器の電源を切る。 WMS 40 PRO FLEXX のチャンネルを変更してみる。
音が歪む	ゲインコントロールの設定が高すぎる。	ハンドヘルド型送信機 [HT 40 FLEXX]：ゲイン設定を「LOW」にする。 ボディパック型送信機 [PT 40 FLEXX]：歪みがおさまるまでゲインを下げる。
	他のワイヤレスシステムやテレビ、ラジオ、無線機、電気設備などの干渉。	干渉と考えられる機器の電源を切る。 WMS 40 PRO FLEXX のチャンネルを変更してみる。
音声が途切れる		受信機 (アンテナ) の角度を変更する。 ドロップアウト (音が途切れる場所) を避けて、送信機を使用する。

仕様

■システム全体

電波形式.............................. F3E
周波数特性.......................... 35Hz ～ 15kHz
※マイクロホンによって異なります。
送受信周波数...................... 806.875MHz, 808.625MHz, 809.125MHz の 3 波から 1 波をスイッチで選択。
到達距離.............................. 約 50m　※使用環境によって異なります。

■受信機【SR 40 FLEXX】

周波数特性.......................... 35Hz ～ 15kHz
音声出力.............................. マイク～ラインレベル、500mV rms
THD(1kHz)........................ 0.8%
スケルチレンジ.................. − 100dBm ～− 70dBm(可変)
SN 比.................................. 110dB(A)
出力端子.............................. XLR3 ピン、バランス型× 1
標準フォーンジャック (TS)、アンバランス型× 1
電源.................................... DC12V(300mA)　※付属の AC アダプター (AC100V、50/60Hz、6.5VA)
寸法・質量.......................... 200(幅) × 190(奥行) × 44(高)mm、630g

■ハンドヘルド型送信機【HT 40 FLEXX】

形式.................................... ダイナミック型
指向特性.............................. カーディオイド
周波数特性.......................... 65Hz ～ 15kHz
発振方式.............................. 水晶発振方式
送信出力.............................. 6mW
アンテナ形式...................... 内蔵式アンテナ
THD(1kHz)........................ 0.8%
SN 比.................................. 110dB(A)
ゲイン調整スイッチ........... HIGH または LOW の 2 段切替
電源.................................... 単 3 形アルカリ乾電池× 1
電池寿命.............................. 約 30 時間
※単 3 形アルカリ乾電池使用時。
※使用条件・使用環境により異なります。
寸法.................................... φ 53 × 229mm
質量.................................... 160g(除乾電池)

■ボディパック型送信機【PT 40 FLEXX】

周波数特性.......................... 35Hz ～ 15kHz
発振方式.............................. 水晶発振方式
送信出力.............................. 6mW
アンテナ形式...................... 1/4 波長ホイップ
THD(1kHz)........................ 0.8%
音声入力レベル.................. 25 ～ 750mV/1kHz（可変)
SN 比.................................. 110dB(A)
入力インピーダンス........... 1M Ω
入力端子.............................. ミニ XLR コネクター
電源.................................... 単 3 形アルカリ乾電池× 1
電池寿命.............................. 約 30 時間
※単 3 形アルカリ乾電池使用時。
※使用条件・使用環境により異なります。
寸法.................................... 60(幅) × 30(奥行) × 74(高)mm
質量.................................... 60g(除乾電池)

■ラベリアマイクロホン [CK 55 L]

※ "WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX/Lavalier" に含まれている製品です。

形式.................................... コンデンサー型
指向特性.............................. カーディオイド
周波数特性.......................... 15Hz ～ 18kHz
開回路感度.......................... − 41dBV re 1V/Pa
最大音圧レベル.................. 118dB SPL(THD 1%)
等価雑音レベル.................. 34dB SPL(A ウェイト)
インピーダンス.................. 200 Ω以下
コネクター.......................... ミニ XLR、3 ピン
ケーブル長.......................... 1.6m
寸法・質量.......................... φ 8 × 23mm、20g(ケーブル含)

■ヘッドウォーンマイクロホン [C 555 L]

※ "WMS 40 PRO Presenter Set FLEXX/Head-worn" に含まれている製品です。

形式.................................... コンデンサー型
指向特性.............................. カーディオイド
周波数特性.......................... 80Hz ～ 20kHz
開回路感度.......................... − 29dBV re 1V/Pa
最大音圧レベル.................. 130dB SPL(THD 3%)
等価雑音レベル.................. 22dB SPL(A ウェイト)
インピーダンス.................. 200 Ω以下
コネクター.......................... ミニ XLR、3 ピン
ケーブル長.......................... 1.5m
寸法・質量.......................... 134(幅) × 195(奥行)mm、26g

ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110　FAX: 03-5783-3111

北海道オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770　FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890　FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス
〒465-0093 愛知県名古屋市名東区一社3-143
TEL: 052-702-6312　FAX: 052-702-6318

福岡ブランチ
〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-5-24
TEL: 092-475-2555　FAX: 092-482-4535

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

2009.4